

ウクライナ避難民の就業定着と、避難民の子どもの就学定着・進学のための伴走支援
活動報告書

1) 避難民の就業・定着の伴走支援

- (1) 時期:2024年4月～2025年3月
- (2) 場所:神奈川県横浜市、他
- (3) 対象者:9名
- (4) 内容:避難民それぞれの適性と希望、状況にあった就職と就業定着のための伴走支援(スキル向上のための学習機会の模索を含む)

■ 実施したこと

避難民の就職・退職の依頼や希望に応じて、公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)と緊密に連携して、①職探し、②仕事を継続できるようサポート、③退職の希望があった際は、避難民と面談し再就職の難しさなどをよく説明した上で、退職の支援、等を行った。

具体的には、以下の通り。

- ・ 就職に関する相談対応
- ・ ハローワークの予約・同行
- ・ 就職先への面接同行、手続きのサポート、説明会・オリエンテーション時同行、通訳、初出勤同行
- ・ 仕事に行く服等、必要品の提供。職場への交通費の補助
- ・ 終業時間が遅い避難民のために駅から自宅まで車による送迎
- ・ 職場と避難民との間の連絡・手続き支援(お休みの連絡、退職、ユニフォーム返却 等)
- ・ 就業訓練の場の提供
- ・ 写真家に避難民を紹介し、モデル採用へとつなげた。撮影の同行等も

2) 避難民の子どもの就学定着・進学・居場所づくり・心のケアの伴走支援

- (1) 時期:2024年4月～2025年3月
- (2) 場所:神奈川県横浜市、他
- (3) 対象者:4名
- (4) 内容:避難民の子どもの、それぞれの状況と希望にあった学校への定着・進学のための伴走支援(居場所づくり・心のケア含む)・進路について相談に乗る

■ 実施したこと

避難民それぞれの状況に応じて、以下の支援活動を実施した。

・Sさん(小学校低学年):公立学校定着支援

保護者の方が学校の定めた方法で欠席等の連絡を徹底することが難しかったため、学校の要請により、子

子どもが登校していない時の状況の確認をしばしば行い、保護者にも学校に連絡するよう励ました。子どもの放課後キッズクラブ入会申し込みをサポートし、保護者が仕事の時も子どもが安全に過ごせるよう支援した。また、子どもがなかなか密に登校できないため保護者の相談に乗った。一時帰国や、最終的には完全帰国による退学の際に、必要に応じて学校と保護者間を取り持ち、必要な手続きを支援した。

・Kさん(高校生)、Iさん(高校生):就学支援・居場所づくり・独自の就業訓練の場の提供

本来はそれぞれ高校1年生、高校3年生になる年度であった。当法人スタッフが勉強の大切さを何度も説いたが学校につながることができず、引きこもりの状況となってしまった。ちょうど別件で、同スタッフがスポーツジムを立ち上げるプロジェクトがあり、夏頃から大工仕事の手伝いなどを依頼したことから、徐々に外に出るようになった。孤立しないように、YOKEに連れて行く等で友達をつくれるようにも支援した。ジム開所後は、2人のジムの会員費を当法人で負担し、彼らはジム通いを続け、身体づくりをしながらジムの掃除なども担当した。継続してジムに携わることによって、成功体験を積み、仕事をするということはどういうことかを学んだ。2025年4月に2人とも家電量販店と契約し、就業予定。

・Aさん(高校生):就学支援・研修先探し・日本語学習支援

—日本では高校生の年齢だが、本人の希望によって、前年度に引き続きオンラインでウクライナの大学に学んだ。履修項目に、日本の大学の付属機関等での研修があり、避難民からの相談を受けて、研修先の機関を方々探した。研修に必要な日本語の専門用語を避難民が学習する支援や研修機関と避難民との間に入り、説明や必要書類の作成を手伝った。

—奨学金受給支援

日本語学校の奨学金を受給するために、学校と避難民の間を取り持った。奨学金制度の説明、提出書類作成支援等。他にも、受給できる奨学金を調査し、説明会に参加した。

—日本語学校での日本語習得の支援

前年から通う日本語学校修了後に、別の日本語学校に入学して更に日本語を学ぶことを避難民が希望したため、別の日本語学校に問い合わせ、受験の手続きを支援。2025年4月からの入学が叶った。

以上

追加資料

【避難民への就業・就学に関するアンケート結果】 2025年4月初旬 実施

アンケート依頼数:9名。内、回答数:5名

- ・LYさん: 仕事に慣れたため、この一年、普通に仕事に従事できた。現時点では仕事の状況に満足しているので、特に他に仕事に関する支援は必要としていない。自分としても仕事がんばっている。学習については、日本語を学び続けており、いくつかの新しい言葉や漢字を勉強した。漢字を覚えることや文法は苦手だが、トライし続けていて、少しずつ習得できている。学習について、特に他の支援は必要としていない。
- ・ZOさん: 私の仕事はシンプルで、自分の裁量で決められることもあり、この一年、楽しく仕事に従事できた。今の仕事に満足しているので、特に他に仕事に関する支援は必要としていない。仕事への自分の取り組みに関して省みるべき点は特にない。学習については、この一年も継続したが、学校の授業が短いので、もっと勉強したい。学習に関してのいろいろな支援のすべてに満足している。
- ・HKさん: 仕事は、良い仕事だったので、この一年、普通に仕事に従事できた。仕事に関する支援が他に必要だったかについては、よく分からない。仕事への自分の取り組みに関して省みるべき点は特にない。学習については、ボランティアの方と日本語を学んだ。学習についてすべて良かった。もしも学習について他の支援があったとしたら、それも良かった。オアシスの支援のすべてに感謝する。
- 。
- ・VOさん: 将来、支援を受けられる可能性があるかを知ることができれば嬉しい。
- ・ZAさん(学生): この1年、日本語を学んだが、さらに深く学ぶことを継続したい。

以上